

## かながわハイスクール議会 2015

### 政策提言書

作成者 第八委員会 委員長 相馬 美季

①	委員会テーマ名	子どもの貧困問題
②	現状の社会 現在の対策 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの貧困は個人の問題だからといって、行政がふみこめていない。</li> <li>・経済的支援はしているが、自分に自信がもてないといった心の貧しさへの支援が不十分。</li> <li>・子どもの貧困に対する誤った認識をもっている。</li> <li>・NPO法人等で行っている子どもの貧困対策の報告や、県との情報交換ができていない。</li> </ul>
③	理想とする社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な貧しさが、心の貧しさに発展することなく、子どもが将来の展望がもてる社会。</li> <li>・日本における子どもの貧困問題の現状について正しく理解し、共に支え合える社会。</li> </ul>
④	手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生と、実際に子どもに関する活動をしている人と、県の職員で構成する、子ども対策本部をつくる。</li> <li>・子ども対策本部は、定期的に県内の現役高校生に向けた講習会を実施し、子どもの貧困に対する理解を深める。</li> <li>・講習会で得た知識をもとに、小中学生と高校生が将来に期待が持てるような交流相談会を開く。</li> <li>・小学生に向けた生活アンケートを行う（子どもの貧困チェック）。</li> </ul>
⑤	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人がふみこみにくい子どもの貧困に、年齢が近い高校生が具体的な個人の心の貧しさに柔軟に対応できる。</li> <li>・今まで浸透していなかった心の貧困について、社会全体に広まるきっかけになる。</li> </ul>
⑥	行政に期待すること 自分たちで出来ること 協同で出来ること など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会の場を提供してほしい。</li> <li>・NPOや市区町村と情報交換する機会を設けてほしい。</li> <li>・資料を高校生がつくる。</li> <li>・ホームページに高校生が書き込む。</li> </ul>